



SBのIP無線サービス新機能提供

企業間の連携に貢献する

西菱電機は、ソフトでも通信が可能で、プライベート不足が深刻化バンクのIP無線サービスの新機能「企業間通信機能」の提供を13日から開始すると発表した。

「2024年問題」に対応した同業他社と協力し合う共同配送や災害時の復旧・復興に係る自治体相互、自治体と民間企業相互の連携など「企業間連携」に役立つ。

ソフトバンクのIP無線サービスは、ソフトバンクが提供する携帯電話網を活用した業務用無線サービス。ソフトバンクのサービスエリア内であればどこ

(ようしや)の活用と可能な動態管理が行え、物流の効率化が求められる。

また、地震・豪雨などの災害が頻発する状況下、被害を受けた自治体が単独で災害対応を行うことが難しい。被災者支援をはじめ、災害時の復旧・復興に係る行政サービス

の継続には、自治体相互、自治体と民間企業相互の連携が不可欠となっている。



上からSOISJ、801KW、A201SJ

位置情報の共有が

大阪・関西万博 盛り上げへ

神田常務が関連イベント登壇

防災ミツシヨンラリーなど紹介

西菱電機の神田達也・関西万博の公式プロ共創チャレンジ同士の業務取締役は、2月27日「TEAM EXPO」の開催された第15回「Hello! TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録を5月AM EXPO 2025 4月から開催される「TEAM EXPO」に登壇した。

「TEAM EXPO 2025」プロ共創チャレンジとして登録している「防災ミツシヨンラリー」などを紹介した。

西菱電機



「Hello! TEAM EXPO 2025 Meeting」(左が神田常務)

この中で同社は「未来の防災」をテーマにFLEへの出展も検討しており、万博参加の検討企業として登壇した。TEAM EXPO 2025プログラムの共創チャレンジとして登録している「防災ミツシヨンラリー」万博会場への参加を検討している企業向けに、参加を検討しているFLEでの展示イメージや万博参加を未来にどのようにつなげていきたいかなどを討議した。

体の参加の促進や、本プログラムを活用した「TEAM EXPO」エリアを創出している。今回のイベントでは、万博会場で開催が予定されている未来の暮らし(食・文化・へた)。